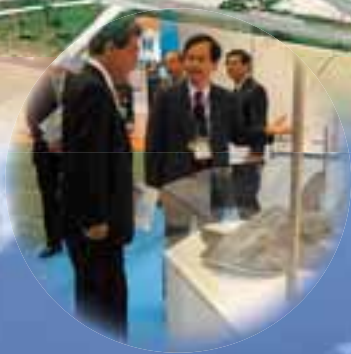


青嵐

題字：阿南 惟正 理事長筆

ひびきのキャンパス



公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

発行日/2010年10月30日 発行元/北九州市立大学広報入試課



Vol.22

特集1 就職ガイダンス・キャリア支援

特集2 ひびきのキャンパス研究内容紹介

トピックス

子ども向けスポーツ講座開催

パソコンの無償配布の開始について

お知らせ

平成21年度の業務実績に関する評価結果

大学説明会情報

部活動実績報告

国際交流ボランティア「ひびきの」設立10周年記念式典開催

アジア人財資金構想環境講座

日中韓・大学学長フォーラム

教育研究審議会の開催について

入試情報 大学院・一般選抜

学生の地域活動紹介 421Lab.

ゼミ紹介

就職ガイダンス&

2012年3月卒業予定者が、夏季休業期間のインターンシップを終え、10月13日から18日に実施した「就職ガイダンス」を皮切りに、本格的な就職活動を開始しました。

そこで、就職支援の取り組みをいくつかご紹介します。



10月13日から18日にかけて、北方キャンパスで2012年3月卒業予定者を対象とした「就職ガイダンス」を開催しました。

ガイダンスでは、キャリアセンターの見館准教授から、景気悪化による就職環境の厳しさや就職活動の心得、キャリアセンターの支援策とその活用方法などの説明があり、これから就職活動を始める学生が必要な知識を得ることが出来る場となりました。

報道などでも伝えられているとおり、昨年に引き続き厳しい状況下でのスタートとなり、参加した学生は危機感をもって熱心にガイダンスに臨んでいました。

就職ガイダンス

エアライン特別講座

10月18日より、本学と株式会社スターフライヤーの合同企画として、2012年3月卒業予定者向けに、エアライン特別講座を開講しました。

エントリーシートでの選考を経て、航空業界を志望している学生約30名が航空会社での面接対策や履歴書・エントリーシートのポイント、プレゼンテーションの技法、そして客室乗務員をはじめ、グランドスタッフや営業職といった職種の方による講話といった内容を受講します。

講師には同社客室乗務員の淵い子氏を招き、来年1月までに全12回の連続講座を無料で行います。就職支援のための講座で、このような長期間のものは、初めての試みです。



学内合同業界研究会「JOB×HUNTER2012」

12月4日に北方キャンパスにおいて、今年で4回目となる学内合同業界研究会「JOB×HUNTER2012」を開催します。

この研究会は学内インターンシップの一環として、参加企業の選定から出展交渉、当日の会場運営までのすべてを学生が行っているもので、「学生が自ら仕事という獲物を狙う」という意味を込めて「JOB×HUNTER」と銘打ち、開催に向けて準備をしています。

様々な業界から約80社の人事担当者を招いて、直接、業界や職種、企業の情報を聞くことにより、インターネットや就職情報誌では得られない貴重な情報を提供するほか、学生がしっかりと目的意識を持って研究会に参加できるよう事前に心構え講座「プレ JOB×HUNTER」を行うなど、就職活動を行う学生に有意義な企画を学生自身が計画しています。



※写真は昨年度の様子

活動が本格化!

キャリア支援

インターンシップガイダンス



就職内定者による就職相談

キャリアセンターでは、11月から就職先が内定した4年生がスタッフとして常駐し、3年生からの就職活動に関する相談に応じています。

つい先日までは就職活動で悩んでいた4年生が、自分の経験を交え、同じ学生の目線から質問に答えたり、アドバイスを送ったりと親身になって相談に応じています。

民間企業へ就職する学生だけでなく、公務員等に進路を決めた学生もスタッフとして加入し、幅広い分野でのアドバイスを行っています。

インターンシップ

6月23日と24日に実施したインターンシップガイダンスには、約570名の学生が参加し、エントリーシートでの選考、事前研修(心構え講座、マナー講座)を経て、インターンシップに臨みました。

◆学外インターンシップ

就職活動に対するモチベーションを高め、職業観を醸成するために、様々な企業、団体において就業体験を行う学外インターンシップを実施しました。アルバイトとは違う、実際の「仕事」を経験し、今後の就職活動に向けての課題発見のために、インターンシップで得た経験を事後研修で再確認しました。



インターンシップ実習風景



インターンシップ実習風景



インターンシップ事後研修

◆学内インターンシップ

就業体験を行う学外インターンシップの他に、社会人としての基礎力やマナーを身につける機会のひとつとして、学生が主体となりプロジェクトを実践する学内インターンシップを行っています。

プロジェクトにはキャリアセンターの活用方法や就職活動に役立つ情報を学生に発信することを目的としたキャリアセンター広報誌「キャリアーナ」の作成などがあります。



キャリアセンター広報誌「キャリアーナ」



「キャリアーナ」ミーティング風景

ひびきのキャンパスで



ひびきのキャンパスにある国際環境工学部は、今年、開設10周年目を迎えました。ここでは、環境に配慮した持続可能で豊かな社会の実現に資するためのさまざまな研究が行われています。

今回は、国際環境工学部で、現在、進められている研究の一部を紹介します。

◆ 高輝度 LED 光源を駆使した植物の機能制御 【河野 智謙 准教授(環境生命工学科)】

近い将来、国内の LED 関連の市場規模は、数兆円規模の市場に成長するとの予測もあるなど、今後の LED の応用分野に大きな注目が集まっています。

こうした中、近年性能の向上が目覚ましい高輝度 LED を農産物の生産・流通分野に応用するための研究に取り組んでいます。特に英国・クランフィールド大学との青果物の流通・保蔵品質の向上に関する共同研究では、FAIS ((財)北九州産業学術推進機構) による共同研究助成を受けながら、高輝度 LED を利用した植物(青果物)の遺伝子発現制御による貯蔵性・流通性の向上を目指した研究を行ってきました。本研究では、若い研究者同士の交流にも力を注ぎ、日英双方からの大学院生・研究員の相互訪問や共同実験、及び合同ワークショップの開催なども行いました。(図1)

この高輝度 LED を利用した植物の遺伝子発現制御技術は、いわゆる「植物工場」にも応用可能な技術であり、上記の国際共同研究の枠組みで得た知見は、ひびきのキャンパスが位置する北九州学術研究都市内に事業所を有する企業との共同での技術開発にステージを移し、実用化に向けた研究開発が進行中です。(図2)

今年度より、北九州市は、経済産業省が推進するスマートコミュニティ実証地域に選定され、東田地区におけるさまざまなテーマの実証研究が開始されつつありますが、その枠組みの中で、高輝度 LED 技術を取り入れた「都市型植物工場の整備事業」にも提案しています。



図1. クランフィールド大学とのLEDを利用した青果物の保蔵及び機能制御に関する研究交流

図2. 20種類異なる波長のLED光源を利用した生物機能の制御実験

◆ フライアッシュの品質改善手法とそれを使用した低炭素コンクリートの開発 【高巢 幸二 准教授(建築デザイン学科)】

本研究は火力発電所などから発生するフライアッシュ(石炭を燃焼する際に生じる灰の一種)の品質を改善し、コンクリート用混和材として大量に使用するための技術開発で、科学技術振興機構の研究成果最適展開支援事業本格研究開発起業挑戦タイプ「改質フライアッシュコンクリートの製造方法」(研究代表・松藤泰典教授)の一環です。

火力発電所から排出される灰のうち、コンクリート用混和材として使用できるものはそれほど多くはなく、ほとんどはセメント原料、路盤材等として処理されています。フライアッシュをコンクリート用混和材にするにはその中に含まれる未燃カーボン量の抑制が重要になります。未燃カーボン量が多いとコンクリートの練混ぜが不能となります。コンクリート用混和材として使用できるフライアッシュの強熱減量(未燃カーボン量)は5%以下ですが、実際のコンクリート用混和材として使用されているのは2%以下のものです。



改質フライアッシュスラリー実機プラント

本研究では浮遊選鉱法によりフライアッシュから未燃カーボンを除去して、2%以下に改善し、さらに凝集しているフライアッシュを分散させてコンクリート用混和材として使用できるようにします。実験室実験で強熱減量12.9%のフライアッシュを1.0%まで減少することに成功し、実機プラントを製造して実験した結果、強熱減量1.5%程度まで低減できました。

また、フライアッシュを大量混合する調合法の実証も行っており、これを用いると高い強度発現性状を示し、高強度な低炭素コンクリートの製造が可能となります。フライアッシュをコンクリートに混合することに伴ってコンクリートの組織が緻密化することによって思われますが、中性化の抑制、塩化物イオンの浸透抑制、アルカリ骨材反応の抑制等の効果が現れ、高耐久性コンクリートが実現します。さらに、フライアッシュ混合コンクリートは長期強度の発現に寄与しますので、強度低下の原因となっていたエコセメントや再生骨材等のリサイクル材料をコンクリートに混合しても高品質化を実現できます。

本研究の推進により産業廃棄物として処理していたフライアッシュを大量にコンクリートへ使用可能となり、低炭素社会の実現に大きく寄与できます。

進行中の研究を紹介

◆ 木(竹)酢液を燃料電池の燃料に利用する技術開発

【黎 暁紅 教授(エネルギー循環化学科)】

北九州市は約 1,400ha と全国でも最大規模の竹林を抱えています。その多くが放置竹林となっており、森林の中に竹が入り込む侵入竹が森林破壊の大きな問題となっています。一方、竹は生長が速く、数年周期で伐採できることから、環境負荷が小さく持続可能なエネルギー資源として注目もされています。

平成 22 年 4 月に開設した国際環境工学部バイオマス研究センターでは、地球温暖化対策やエネルギーセキュリティーの向上を目的として、低温で木(竹)酢液から水素を製造することより、木(竹)酢液を直接に家庭あるいは自動車用燃料電池の燃料に利用する技術開発を行っています。

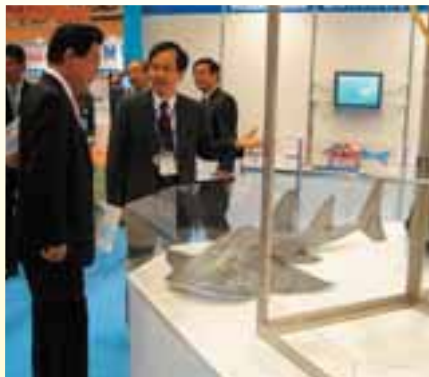
本研究での竹資源のバイオマス燃料化技術及びそのプロセスが成功すれば、「竹」をはじめとする分散型バイオマス資源を都市部にて効率的に活用すると共に、北九州市の竹林問題の解決手段としてだけでなく、全国においてバイオマスによる持続可能な都市形成及び低炭素社会の構築に大きく貢献できるものと考えられます。



接触改質用反応装置

◆ 最新鋭のロボット開発 【山本 郁夫 教授(機械システム工学科)】

さまざまなニーズと期待に応えるべく、陸上、海洋、航空、宇宙、医療の分野で最新鋭のロボット開発を行っています。開発は力学やシステム工学を基本としていますが、特長は次の通りです。



魚ロボットについて北九州市長へ説明

◆<柔らかいメカニズム>の開発

魚ロボットに代表される生物運動型ロボットは、独自に構築した弾性振動翼推進原理を応用し、柔軟で高運動性を実現できる水中ロボットの実現を目指しています。

また、柔軟な構造を有するロボットのメカニズムは、外科手術用鉗子(かんし)・リハビリテーション等、医療分野、宇宙観測作業分野、空中からの防災情報通信分野、環境観測分野などにも展開しています。

◆<自律化システム>の開発

自動的に状況を把握し、極限環境下でもミッションを遂行できるロボットを研究しています。厳しい海洋気象条件下でも位置保持が可能な次世代型洋上浮体ロボットや海難救助用ロボットを開発中です。

将来は、「ロボット群」で広範囲なエリアを効率的に観測できる陸・海・空・宇宙の「ロボット群観測ネットワークシステム」の研究を行う予定です。

これらの研究は、内容のユニークさが学術誌のみならず、国際メディアでも多数取り上げられています。また、ロボット群観測ネットワークシステムの研究は北九州市成長産業推進協議会ロボット分野重点プロジェクトに位置付けられており、要素技術開発は総務省 SCOPE 研究、文部科学省地域イノベーションプログラム等の支援を受けております。

◆ 5本指ロボットハンドの開発 【ゴドレール・イヴァン 教授(情報メディア工学科)】

柔軟な構造とセンサ融合によって、柔らかいものをつかむなど、人に優しいロボットハンドの開発を行っています。

産業用ロボットに主に使われている電気モータと歯車減速機の代わりに生物の筋肉の動作に似るアクチュエータをロボットハンドの指の駆動に適用しました。人間や動物と同様に、筋肉=アクチュエータの力を緩めることによって各関節の動きを自由(フリー)にさせることができます。例えば、予期しない接触が起きるときには衝撃力が和らげる利点があり、ロボット本体と周りの物体の保護につながると考えられます。ヒューマンフレンドリーロボットの実現に向けての研究の一つです。

試作したロボットハンドの主な特徴は、5本指、18関節、14独立自由度、15個のブラシレス DC モータとコントローラ内蔵、大きさは大人の手と同等、重さは約 800 グラムです。今後の課題は力センサを指に内蔵し、制御によって把持力をコントロールすることです。

本研究は「地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型【第Ⅱ期】)」の支援を受けています。



5本指ロボットハンド

TOPICS

トピックス

子ども向けスポーツ講座を開催

今夏、本学では2つの子ども向けスポーツ講座を開催しました。

◆中学生ベースボールスクール

「中学生ベースボールスクール」は、7月31日(土)、8月1日(日)の2日間にわたり、本学硬式野球部の徳永政夫監督(基盤教育センター)、元ソフトバンクホークストレーナー 後藤英行さん、本学硬式野球部員の指導のもと開催されました。

好天にも恵まれ、市内6中学校の野球部員114名が参加しました。1日目にウォーミングアップやキャッチボール、守備・投球練習、2日目には合同チーム対抗による練習試合、スピードガンコンテストを行いました。

参加者から「ストレッチや基礎練習の大切さを学んだ」「前よりうまくなった気がした」「自分の球速が分かってうれしかった」など感想が聞かれ、今後の練習の励みとなる2日間でした。



◆ちびっこふれあい柔道教室

「ちびっこふれあい柔道教室」は、8月23日(月)に「小倉南武道場柔剣道場」で開催されました。

市内道場に通う小学生以下の子どもたち61名が参加し、町田英典さん(日本中央競馬会:小倉競馬場)、小園弘美さん(新日鉄八幡製鉄所柔道部OB)、本学柔道部の實住幸太郎監督、本学柔道部員をはじめ、阿南惟正理事長も指導にあたりました。

最初に準備運動、しつぽ取りゲームで楽しみながら体をほぐした後、指導者から技のコツを伝授され、熱心に打ち込み、乱取りなどを行いました。

参加児童たちにとっては、一流の指導者や他道場の児童たちと交流することで、良い刺激となったようです。



パーソナルコンピューターの無償配布の開始について — ひびきのキャンパス発 地域貢献プロジェクト —

国際環境工学部では、ひびきのキャンパス発の地域貢献プロジェクトの一環として、廃棄されるパーソナルコンピュータを学生ボランティアの手で再生し、地域で活動されている団体等に無償で提供する取組みを開始しました。

この取組みは、これまで廃棄処分を行っていた壊れた使用済みのパソコン(PC)を学生ボランティアが修繕・清掃してリサイクルPC『Peco』(愛称“ペコ”)として再生させ、地域でまちづくりや生涯学習等さまざまな公益活動を行っている市民団体、NPO、ボランティアグループ等に贈呈するものです。

この取組みの第1回目として、15台のリサイクルPCの提供を行うことになり、市政だよりで公募したところ39団体(希望台数76台)の応募があり、抽選の結果10団体が当選しました。

平成22年7月12日(月)、ひびきのキャンパスにて贈呈式が執り行われ、団体の方々と学生ボランティアとの交流が生まれました。

今後とも、地域の方々に喜んでいただけるよう、この事業を継続していきます。



平成 21 年度の業務の実績に関する評価結果

本学の平成 21 年度の業務実績に関する評価結果が 8 月 10 日(火)に公表されました。この評価は、地方独立行政法人法に基づき、北九州市地方独立行政法人評価委員会(委員長：石田重森 福岡大学名誉学長)が毎年度行っているものです。

同評価委員会において、今年 7 月から 8 月にかけて、本学の平成 21 年度計画の実施状況についての評価作業が行われ、「いずれの分野においても年度計画以上に進展しており、高い認証評価結果や入学志願者数の増加、外部研究資金の確保等につながっており望ましい状況である」として、高い評価を受けました。

高度な英語教育の目標到達学生割合など、さらなる取組みを求められている項目もある一方で、高く評価された項目としては、①地域創生学群の創設と、4 年一貫演習と現場実習を特色とする教育のスタート、②スカラシップ入試制度の導入、③卒業延期特例措置の導入、④地域貢献の取組が挙げられています。

大学説明会情報

夏季オープンキャンパス [7/17・18]

7 月 17 日(土)、18 日(日)の 2 日間、北方キャンパス、ひびきのキャンパスにおいて夏季オープンキャンパスを開催し、2 日間で約 4,000 名の高校生や保護者の方に参加いただきました。

学部別の説明会や模擬授業、知りたいことを在学生から直接聞けるイベントなどとともに、北方キャンパスでは保護者説明会を開催し、学長・学生部長が大学の改革への取り組み状況やサポート体制などの説明を行いました。この説明会には 2 日間で 263 名の参加があり、参加者からは「大学改革への取り組みがよくわかった」「就職や学生支援が充実していることがわかった」「明るく元気な大学というイメージを持った」などの意見をいただきました。

これからもますます魅力あるオープンキャンパスを目指して取り組んでいきます。



秋季オープンキャンパス [9/25]

夏季オープンキャンパスに参加できなかった方やもっと北九大を知りたい方のために、平成 19 年度から秋季オープンキャンパスを実施しています。

北方キャンパスで 9 月 25 日(土)に開催し、700 名の高校生や保護者の方に参加いただきました。参加者からは、「夏季オープンキャンパスに来たが、もう一度参加した。改めて自分の学びたいことがあり夢がかなえられると感じた。」などの意見をいただき、好評を博しました。

なお、ひびきのキャンパスでは 11 月 6 日(土)、7 日(日)に行われます。



部活動実績報告

◆ソフトテニス部

第 60 回九州地区大学体育大会(夏季)………3 位

◆ハンドボール部

第 60 回九州地区大学体育大会(夏季)………3 位

◆弓道部

第 60 回九州地区大学体育大会(夏季)………3 位

◆卓球部

第 61 回全九州秋季卓球選手権女子 3 部リーグ………優勝

国際交流ボランティア「ひびきの」～設立10周年記念式典が開催されました～

国際交流ボランティア「ひびきの」は、平成13年4月の北九州市立大学国際環境工学部開設に合わせ、留学生に快適で充実した生活を送れるよう地域住民が「何かお手伝いできることは・・・」と考え、設立されました。

現在、40歳代から70歳代までのメンバー39人が、生活用品の提供、引越しの手伝い、新入生歓迎会、焼肉パーティ、バスハイクなどの支援活動を行っています。その中で、留学生は地域行事のどんど焼き、夏祭り、盆踊り、文化祭等にも参加するなど、地域の方々との交流の輪も広がっています。

その活動も今年で10年の節目を迎えることとなり、9月25日(土)に設立10周年記念式典及び祝賀会が国際環境工学部留学生会館で盛大に行われました。

式典には、矢田学長をはじめ多くの大学関係者、支援団体、地域住民や留学生など約120人が出席し、国際交流ボランティア「ひびきの」の田中友治代表が「これからも日本のお父さん、お母さんのつもりで留学生の支援活動をさらに充実させていきたい」と新たな思いを述べました。

また、祝賀会では、設立当初からの10年の思い出話に花が咲き、応援団の演舞やお茶会も行われるなど華やかな宴となりました。

これからも「日本一留学生に親切な大学」を掲げる本学の国際交流の推進に一層ご協力いただけるよう願っています。



挨拶をされる国際交流ボランティア「ひびきの」の田中友治代表

アジア人財資金構想環境講座

「アジア人財資金構想」は、文部科学省と経済産業省が共同して実施するプログラムで、日本企業に就職を希望する優秀なアジアの留学生に対し、様々な分野における専門教育から就職支援までの一連の事業を通じて、産業界で活躍する人材を育成することを目的としています。

本プログラムは、(財)北九州産業学術推進機構(FAIS)が管理法人となり、北九州学術研究都市の3大学(北九州市立大学大学院、早稲田大学大学院、九州工業大学大学院)と民間企業のコンソーシアム体制で行っており、現在、大学院修士課程の留学生(北九大:11名、早稲田:12名、九工大:5名)合計28名が在籍しています。



エコタウンセンターで環境について学ぶ留学生

各大学は企業と連携して専門教育を受け持っており、北九州市立大学では環境講座と日本ビジネス教育講座を行っています。環境講座では、企業から講師を招き、環境ビジネスや技術実務の演習、現場研修を実施しました。特に現場研修では、演習で学んだことをエコタウンの視察や「環境モデル都市」北九州市の先進的な現場で体験することができ、「非常に貴重な経験ができた」と学生に好評です。

日本ビジネス教育講座では、日本企業で働くための能力を身に付ける就職支援も行っており、これまでの卒業生は、トヨタ自動車九州(株)をはじめとする有力企業に就職して活躍しています。



講義で学んだことを先進的な現場で確認する

お知らせ 3

一日中韓・大学学長フォーラム「環境・地域連携・人材育成」をテーマに交流

10月12日～15日の日程で環黄海地域の日・中・韓3カ国の主要な35大学の学長等が一堂に会し、「第6回環黄海産学官連携大学学長フォーラム（北九州会合）」が開催されました。このフォーラムは、2005年の韓国・大田会合から年1回各国持ち回りで開催されているもので、日本での開催は、熊本会合に次ぎ2回目となります。北九州会合では本学が開催校を務め、日本代表校の九州工業大学と共に主催しました。今回のテーマは、「環境・地域連携・人材育成」で、本学の矢田学長の「環黄海工業集積と北九州の環境産業」と題した基調講演を皮切りに、各国の代表12大学の学長等が域内での地域連携、環境問題に関する産学連携や学生交流などについて取り組み等を発表し、活発な討議が行なわれました。



教育研究審議会の開催について

第125回 平成22年9月14日（火）

- ①教員の退職及び採用について
- ②教員の再任について
- ③特任研究員の選考について
- ④平成22年度前期学友会交渉申し入れに対する回答(案)について
- ⑤第2期中期計画(草案)修正案について

第126回 平成22年9月28日（火）

- ①教員評価委員会規程の一部改正について
- ②サバティカル取得に伴う各種委員会委員等の変更について

第127回 平成22年10月12日（火）

- ①教員の採用について
- ②特任研究員の選考について
- ③科研費等申請推進を目的とする特別研究推進費の申請制限について
- ④学友会交渉申し入れ書の回答について
- ⑤安全保障輸出管理規程の制定について
- ⑥第2期中期計画(草案)修正案について

第128回 平成22年10月26日（火）

- ①教員の採用について
- ②特任教員の選考について
- ③法学部コミュニティ・コースの見直しについて
- ④韓国・国立昌原大学校からの留学生受入れについて

入試情報

大学院入試について

	社会システム研究科 (博士前期課程)	法学研究科	マネジメント研究科	国際環境工学研究科
願書受付	平成22年12月13日(月)～12月17日(金)		平成23年1月6日(木)～1月13日(木)	平成22年12月13日(月)～12月22日(水)
試験日	平成23年1月30日(日)		平成23年2月12日(土)・13日(日)	平成23年1月30日(日)
合格発表	平成23年2月10日(木)		平成23年2月18日(金)	平成23年2月4日(金)

◎詳細は学生募集要項をご確認ください。(学生募集要項: 大学HP [http://www.kitakyu-u.ac.jp] からダウンロードできます。)

社会システム研究科(博士前期課程) 学部生対象 進学説明会

日時 平成22年11月17日(水) 昼の部 12:20～13:20 夜の部 18:00～19:00
場所 北方キャンパス 本館5階 D-501教室
※事前のお申込は不要です。また、参加される方の学年は問いません。お気軽にご参加ください。
お問い合わせ先: 教務課 大学院係 093-964-4021 daigakuin@kitakyu-u.ac.jp

一般選抜入試について

日程	出願期間	試験日	合格発表
前期日程	1/24(月)～2/2(水)	経済・文・国際環境工	3/8(火)
		外国語・法・地域創生	
後期日程		外国語・経済・文・法・国際環境工	3/21(月・祝)

※大学入試センター試験は平成23年1月15日(土)、16日(日)に行われます。

学生の 地域活動 紹介

「漫画の力でみんなを笑顔に」

～北九州漫画ミュージアム
学生サポーターズプロジェクト～



「北九州を地域へ発信」

～北九スピリットプロジェクト～



2012年に開設予定の(仮称)北九州漫画ミュージアムを応援するプロジェクトです。8月27日にはリバーウォークで市の文化振興課が主催する子ども文化ふれあいフェスタ内の「夏休み!まんが教室」の企画・運営を行いました。当日は100名もの子どもの参加がありましたが、座席の配列、漫画の制作ガイド作成、子どもたちのレベルに応じた漫画の台紙作り、当日の運営マニュアル作り、場を想定したロールプレイなど、事細かな事前準備が功を奏して、会場内は大盛況で子ども達の笑顔が絶えませんでした。

CROSS FMの番組「北九魂-KITAKYU SPIRIT-」の1コーナー「キタキューエナジー」で、学生の視点から見た北九州の魅力を届けています。これまで、北九州の名菓「ねんりん小僧」や音楽イベント「北九州ミュージックプロムナード」等を通して、地域活性化のために活動している学生を中心に紹介してきました。放送枠は10分程度ですが、情報収集に始まり、題材選びからインタビュー取材、音源の編集、原稿作成までの膨大な作業行程を経て、放送を迎えています。放送回までの限られた時間の中で、計画を立てて段取り良く進めていくことは至難の業ですが、これまでの反省を活かし、ディレクターのサポートを受けながら取組んでいます。

現在進行中の
421Lab.の

16プロジェクトの中から
3つをピックアップして
ご紹介します。

「421Lab.を支える学生たち」

～421Lab.学生運営スタッフ～



4月から開設された地域共生教育センターは、大学の組織でありながら学生も運営に携っており、15人いる学生運営スタッフの活動は多岐に渡ります。421Lab.に来る学生の相談を受けたり、センターの顔となる広報誌の作成、Webの制作なども分担して行っています。また、学内の活動以外にも運営スタッフ自身も実際に地域に出て活動を行うことにより、センターの改善点や地域のニーズを汲み取る力などを徐々に身につけてきました。これからはたくさんの学生に421Lab.を知ってもらい、地域活動の楽しさを伝えていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

◆その他の活動については、421Lab. ホームページでも紹介しています。ぜひアクセスを。
【ホームページアドレス】<http://www.kitakyu-u.ac.jp/421/diary/info-top.html>
【携帯用サイト】<http://www.kitakyu-u.ac.jp/421/m/>

ゼミ紹介

Seminar Introduction



「中国演劇研究」 ゼミ活動について

外国語学部 中国学科

教授 板谷 俊生

私のゼミは中国演劇研究ゼミです。毎年12月に、卒業記念演劇公演と銘打ち、中国語による演劇公演を行っています。中国を丸ごと理解し、4年間の集大成として舞台上で表現するゼミです。いわゆる京劇ではなく、話劇という演劇形態で、日本の新劇に相当するものです。

私の3年ゼミでは、中国現代文学史および中国話劇運動史を紐解き、4年次1学期からいよいよ原書によるシナリオの講読に入ります。ゼミ生数に見合うキャストのシナリオを幾篇か紹介し、何を讀むか、何を演じるかはゼミ生と相談の上、決定します。シナリオ選定は舞台の良し悪しをも左右しかねないものですから、毎回非常に神経を使う作業となります。原書講読をしながら日本語台本を作成していきます。この台本を基に日本語字幕を作成し、公演時に舞台袖に用意したスクリーンに映し出すのです。

夏季休暇前にキャストの発表を行います。ゼミ生全員が舞台に立つことを原則としているため、スタッフの仕事もゼミ生が兼務し、そして公演当日に音響、照明、字幕の仕事も同僚・後輩たちに託すことになります。

2学期の10月から12月中旬の公演本番までの約2ヶ月余り、月曜日から金曜日まで、空き教室を利用して、芝居の稽古に精を出すことになります。貴重な時間を費やして観に来ていただく観客の皆さんの心になにかを伝えたいという一心でゼミ生たちは毎日練習を積み重ねます。昨年までにすでに15回の公演を行ってきました。そして今年は16回目として、12月11日(土)14:00、A101において、瀬戸川川原の「暗恋桃花源」を上演します。

卒業公演当日を迎えるまで、ゼミ生たちはこれまでもいろいろな困難にぶつかり、苦しみながらも、一人ひとりが個性を發揮すると同時に協調性も發揮しながら、彼らの目の前に横たわる問題をひとつひとつ解決してきました。この卒業記念公演の活動を通して、ゼミ生たちは精神的に大きく成長するように感じます。カーテンコールで見せるゼミ生たちのあの達成感とあの爽やかな笑みは一生私の脳裏から離れることはありませんし、ゼミ生たちもここでの経験が大きな自信となり大学を巣立って行ってくれるであろうと毎回そう感じています。

◆教員プロフィール◆



板谷 俊生
(いたが としお)



外国語学部中国学科教授。専門は中国近現代文学、中国演劇研究。教育では中国語講読、中国文学研究、中国文化研究を担当。協定校 大連外国語学校へ派遣教員として二度赴任。廈門大学にて在外研究。



サトヤマビレッジプロジェクト

建築デザイン・都市計画を 通じた地域貢献

建築デザイン学科

准教授 赤川 貴雄

我々の研究室では建築デザイン・都市計画を通じた地域貢献を目指しています。黒崎では熊手商店街の景観向上を通じたまちづくり活動、門司港では歴史的建造物の保存活動、折尾駅周辺地区では景観形成のための活動を行っています。北九州市の都市計画審議会、景観アドバイザーも務めており、都市計画・景観行政を通して北九州市の魅力をかかして向上させるかという方策について行政と協力して活動を行っています。

上記のようなまちづくり活動と並行して、設計活動も行っています。昨今ではサトヤマビレッジの街区計画を産学連携で行い、モデルハウスを研究室で設計し、グッドデザイン賞(平成20年)、福岡県美しいまちづくり建築奨励賞(平成21年)を受賞しました。今後も建築デザインや都市計画を通じた地域貢献を行っていきたくと考えています。



黒崎の商店街の景観向上ワークショップ

◆教員プロフィール◆



赤川 貴雄
(あかがわ たかお)

国際環境工学部建築デザイン学科准教授。東京大学工学部建築学科卒業。民間企業での勤務、ハーバード大学デザイン学部大学院アーバンデザイン学科修了後、モンテレイ工科大学の主任研究員を経て2002年より現職。建築設計、建築・都市理論を主として研究。一級建築士。

北九州を知ろう!!

若松編

1 遠見ヶ鼻 妙見埼灯台

かんぼの宿 北九州

2 千畳敷

3 岩屋海水浴場

1 遠見ヶ鼻 妙見埼灯台

若松北海岸の眺望が美しい妙見埼灯台。江戸時代には遠見番所が設けられ、沖の密貿易船、難破船、外敵等の異変に備えていました。

2 千畳敷

海岸段丘が波浪によって浸食され、波食台という平らな岩板(三紀層)になったもので、その名のとおり、畳をびしりと敷いたような岩礁。干潮時に長さ200m、幅50mに及ぶ特異な姿を現します。

3 岩屋海水浴場

白い砂浜が美しく弓なりに延び、海水浴以外のシーズンでもサーフィンなども盛んで、1年中風と波が楽しめます。

6 グリーンパーク

総面積240haを有する北九州市最大の都市公園グリーンパーク。大芝生広場をはじめ、カンガルーやウォンバットなどがいる「カンガルー広場」、蝶もいる「熱帯生態園」、春と秋に見頃の「ワサ園」など、一日中ゆったりと楽しめます。

学術研究都市

未来をひらくアジアの学術研究都市

北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積や良好な住宅地の供給を目標に、複合的な街づくりを目指します。北九州学術研究都市の教育・研究機能と産業との連携を促進し、豊かな未来を築く新たな産業の創出と技術の高度化に力を注いでいます。

4 旧古河鉱業若松ビル

大正8年の建築といわれ、れんが造り二階建ての建物は現在若松に残された近代建築物の中で最も華やかな外観をもち、若松バンドのシンボルと評されています。

5 若松バンド(若松南海岸通り)

若松南海岸通りの大正期の建物群を中心とした近代港湾都市固有の帯状の都市空間。石炭炭氣に沸いた若松の歴史と発展を伝えています。

若松の特産品・土産品

- あかもく
- 若松スイカ
- 若松トマト
- 若松キャベツ
- 岩屋めひじき
- 新鮮な海産物

若松区役所マスコットキャラクター“わかっば”です!

～わかっば伝説～

むかしむかし、わるさばかりしておる河童がおった。ある夏の暑い日、人間達に捕まり封印されそうになった。じゃが、河童はスキをついて、いくつもの山を越えて逃げた。しかし、河童はついに力尽き、ひからびてうごけなくなったんじや。

と、そこへ通りかかった島郷のトマト農家の人に河童は救われたんじや。農家の人は、精をつけさせようとおいしいおいしいトマトをたくさん食べさせた。

すると…体がトマト色に変わってしまった。命を救われ、人間のあたたかさに触れた河童は心をあらため、トマト作りを手伝うようになった。河童はそれ以来、親しみをこめて「わかっば」と呼ばれるようになったんじや。

～わかっばの特徴～

- 河童なのにクローラーが得意。
- 河童なのに畑仕事が好き。(特にトマト作り)
- 若松のトマトじゃないと、怒りながら食べる…。
- トマトときゅうりを同時にあげると悩む…。やっぱりトマトから食べる。
- 河童なのに海がすき。(特に釣りが好き)
- 河童なのに海の魚を食べる…。(イカが大好き)
- 河童なのにJAZZを聴きながら、お茶を飲む。
- 河童なのに読書が好き。(火野葦平をこよなく愛す)
- 五平太ばやしが好き。若松みなとまつりに出ることが夢。
- グリーンパークのカンガルーに結構友達がいる。
- ぶあいそうにみられるが、実は素直。頼み事をされると断りきれず「わかっば!!」という。(「わかっば!!」だけはすべての人間に聞こえるらしい)

◎出張講義、大学見学のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。
 ◎学報に関する皆様からのご意見をお寄せください。
 お問い合わせは、広報入試課(Tel.093-964-4196)へお願いします。